



One Team Report **2024**

スズケングループ統合報告書

C O N T E N T S

スズケングループについて

- 1 目次・編集方針 / At a Glance
- 3 理念
- 5 パーパス
- 7 目指す姿
- 9 財務・非財務ハイライト(連結)

健康創造事業体として

すべての人々の健康に貢献

スズケングループは創業以来、社会のお役に立つことを使命に事業を展開してきました。創業100周年に向け、すべての人々の健康に貢献する「健康創造事業体」への転換を目指します。

価値創造と戦略

- 11 社長メッセージ
- 15 価値創造プロセス
- 17 マテリアリティ
- 19 長期計画と中期経営計画
- 25 成長戦略におけるトピックス
- 33 財務戦略
- 36 人的資本戦略
- 39 気候変動

すべては持続可能な社会のために——

デジタルの活用を基盤に両利き経営を推進

2025年度を最終年度とする中期経営計画では、「既存事業の変革」と「新たな成長事業の準備」を両利きで進めています。デジタルヘルスケア、スマートロジスティクス、地域医療介護支援の3つの成長ドライバーを軸に、協業やデジタル活用への投資と人材育成に注力しています。医薬品流通という社会インフラとしての機能を維持し、持続的な社会の実現と成長を目指します。

事業ポートフォリオ

- 41 医薬品卸売事業
- 43 ヘルスケア製品開発事業
- 45 地域医療介護支援事業
- 47 医療関連サービス等事業

中期経営計画の実践にあたって、セグメント構成を変更

2023年度からセグメントを一部変更しています。旧医薬品製造事業に医療機器・材料製造事業を加え「ヘルスケア製品開発事業」、旧保険薬局事業に介護事業と医療介護支援事業を加え「地域医療介護支援事業」としました。

ガバナンス

- 49 社外取締役メッセージ
- 51 コーポレート・ガバナンス
- 57 サステナビリティマネジメント
- 59 コンプライアンス・リスクマネジメント
- 63 取締役

社会インフラ企業として

ガバナンス体制とコンプライアンスを強化

社会インフラとしての使命を果たし、事業を通じて新たな価値を創造するためには、ステークホルダーの皆さまからの信頼が不可欠です。コンプライアンス最上位の考えの下、コーポレート・ガバナンス体制、コンプライアンスを強化しています。

財務・企業情報

- 65 11年間の要約財務ハイライト(連結)
- 67 株式情報
- 68 会社概要

財務データや、株式とスズケングループの基本情報を掲載しています。

編集方針

「One Team Report 2024」

発行にあたって

スズケングループは、2016年から従来の「アニュアルレポート」と「CSR報告書」を統合し、財務情報と非財務情報をまとめた統合報告書として発行しています。本レポートを通じ、株主・投資家をはじめとした幅広いステークホルダーの皆さまに、当社グループについて、より深くご理解いただければ幸いです。

なお、本レポートにおける業績および財務データは有価証券報告書に基づいています。

将来の見通しに関する注記

本レポートには、スズケンおよびスズケングループの将来に関して、スズケンの経営者が現時点で適当と判断した前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。これらは、一定の前提に基づいたものであり、リスクや不確実性を伴います。従って、実際の業績は、社会情勢、経済情勢により、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

At a Glance

創業



1932年

医薬品卸として創業後、90年以上にわたって医薬品を日本中に届けるとともに、社会のニーズに応じて事業を拡大してきました。

事業

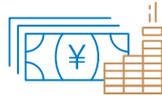


4

セグメント展開

2023年度から事業セグメントを変更し、医薬品卸売事業、ヘルスケア製品開発事業、地域医療介護支援事業、医療関連サービス等事業で事業活動を行っています。

売上高



2兆3,864億円

2023年度は前年比で増収増益となり、売上高は過去最高を更新しました。

グループ会社数



57社

スズケングループは、スズケンとグループ会社45社、関連会社11社で構成されています。これに加え、多様な外部企業との提携や協業も進めています。

医薬品卸売事業

取引軒数



約20万軒以上

取扱品目



約64,000品目

独自の「医療流通プラットフォーム」を構築し、高い流通品質による医薬品の安定供給を実現しています。中でも、スペシャリティ医薬品の一社流通は、業界トップの実績を誇っています。

グループ従業員数



13,086名

医療と健康に関わる多様な人材が集まり、One Teamとなって、新しい価値の創出にチャレンジしています。

営業拠点数



全国206カ所

物流センター数



15カ所

日本全国をカバーする営業・物流ネットワークを持ち、社会インフラとして、持続可能な医薬品流通体制を構築しています。



創業のころ

世のため、人のため

スズケングループ経営理念

ミッション 存在意義・使命 「健康創造のスズケングループ」は、グループの英知を集め、すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続けます

ビジョン 将来の理想像 「健康創造のスズケングループ」は、健康に関わるさまざまな領域で、新しい価値を創造することに挑戦し、すべての人々の笑顔を応援するベストパートナーを目指します

バリュー 行動基準 **SMILE**

誠意 (Sincerity) と倫理観 (Morality) をもって独自性 (Identity) を生かし、お得意さまに学ぶ (Learning) 心で進化 (Evolution) し続けます

スズケングループメッセージ

**Design
Your
Smile**

健康創造の
スズケングループ

経営理念のキーワード「笑顔」をテーマに、スズケングループはすべての人々の健康で豊かな生活を創造する、との決意を込めました。

事業領域

健康創造

すべての人々の健康で豊かな生活を創造すること——スズケングループは、「健康創造」を事業領域と定め、医療と健康に関わる事業を総合的に展開しています。



当社グループのお得意さまは、
医療機関、保険薬局、医薬品メーカーさま、医療・介護に従事される方々、
患者さま、さらには、地域住民、地域社会にまで広がっています。
これまで築き上げてきたお得意さまとの信頼関係を「伝統資産」と位置づけ、
社会課題の解決と社会コストの低減に貢献する価値を提供します。



株式会社スズケン
最高顧問
別所 芳樹



株式会社スズケン
取締役会長
宮田 浩美

すべての人々の

健康を支える 新たな価値を創造し続ける

健康創造領域における価値創造によって社会のお役に立つことが、スズケングループの使命です。
創業から90年以上、創業者の思いを受け継ぎ、
社会のニーズに応える新しい製品やサービスを創出してきました。



1932~



第1の創業

「世のため、人のため」との思いから 医薬品の卸売を創業

創業者鈴木謙三が医薬品卸として「鈴木謙三商店」を創業。後に医薬品製造事業や医療機器製造事業を開始し、事業を多角化。社名を「株式会社スズケン」に変更。



第2の創業

事業領域を 「健康創造」と定め 事業を拡大

東証、名証の市場第一部に指定。グループ経営理念を策定し、全国展開を達成。その後海外にも進出。また、医薬品卸として初めてメーカー物流受託事業、希少疾病領域の総合支援事業を開始。保険薬局、介護業界にも参入しさらに事業を拡大。売上高は2兆円を突破。



19

スズケングループに根付く経営の考え方



創業者 鈴木 謙三

世のため、人のため

スズケングループは創業以来、新しい価値を創造し社会のお役に立つことを使命に、「健康創造」という事業領域でさまざまな事業を展開してきました。「世のため、人のため」——この「創業のころ」こそが私たちの成長の源泉です。お得意さまと長きにわたり築いてきた関係性を生かし、これからもすべての人々の健康で豊かな生活に貢献し続けます。



最高顧問 別所 芳樹

お得意さまに学ぶ

スズケングループでは、患者さまを含めたスズケングループに関わるすべての方々を「お得意さま」と定めています。お得意さまから直接教えていただくことからの“学び”、提案への評価からの“学び”と、そこから生まれる新たな“気づき”。このサイクルを意識的に回し続け、信頼され選んでいただける企業であることを最も大切にしています。

第3の創業

「健康創造事業体」への 転換に向けた 新規事業の創出

多様な企業との協業を加速させ、デジタルの活用により医療流通プラットフォームを進化させるとともに、デジタルプラットフォームの構築を進める。これまでにない製品・サービスと新たな価値を生み出し、唯一無二の存在を目指す。

2020~



COLLABO Portal



血圧アプリ



服薬管理



体重管理



糖尿モニター



パルス



食事管理

佐藤先生へのおすすめ

医療DXセミナー「医療DX時代の多職種医療連携アプリ…

2024年8月22日開催



【医師向け】オンライン診療の活用事例とコロナによる…

2024年6月22日開催



お知らせ

2024年8月12日

お知らせ

服薬管理アプリがソリューシ…

コラボポータルチャンネル



83~

会社は自己実現の場となる

人生の中で多くの時間を費やす仕事に誇りや生きがいを持ち、仕事を通して「自己実現」することができれば、これに勝るものではありません。社員には、自ら積極的に能力を高め、自らの責任で将来を築く姿勢を持つことを求めています。そして、このような人材を育て、社員が自己実現できる場を作り出すことが会社の責任であると考えています。

全員経営

社員一人一人が個性や能力を十分に発揮し、それが評価される全員参加の経営を目指しています。大事な場面で一緒に考えてくれる人や任せられる相手を育てること、そのような相手を見抜く目を持つこと、任せた相手が失敗した時には自分の責任であると思うこと。このような精神を受け継ぎ、社員全員が評価を受けられる環境を整えていきます。

人とモノと情報をつなぎ、
患者さまの健康を支える

ベストパートナー

スズケングループは、さまざまなメーカーと、医療・介護従事者の皆さま、さらには患者さまとご家族をつなぐ存在になることを目指しています。「デジタルヘルスケア」「スマートロジスティクス」「地域医療介護支援」の3つの成長ドライバーを軸に、新たな価値の創出を実現します。

デジタルヘルスケア

メーカーと、医療・介護従事者、患者さまとご家族をつなぐ場として、医療DX総合プラットフォーム「コラポータル」を構築し、デジタルビジネスの展開を進めています。

コラポータルへの登録数

(2024年3月31日現在)

16万ID

医療・介護従事者1名に1IDを付与しています。地道な普及活動により、サービス開始から1年間で16万IDを獲得しています。

ソーシャル医療介護連携プラットフォーム登録数

(2024年3月31日現在)

25万ID

医療機関、介護施設の垣根を超えて患者情報のスムーズな共有などを可能とするコミュニケーションツール「メディカルケアステーション(MCS)」を展開しています。

スマートロジスティクス

デジタルを活用し、医薬品流通の効率化、最適化、自動化を実現することによって、収益性の向上と社会課題の解決への貢献を目指しています。

キュービックスシステムの導入数

(2024年3月31日現在)

457施設

医薬品の管理状況を24時間365日、リアルタイムでモニタリングできるトレーサビリティシステム「キュービックスシステム」が全国の医療機関・保険薬局に導入されています。

医薬品廃棄ロス削減実績

(2023年度)

約42.8億円

キュービックスシステムの活用によって、未使用在庫の再販売や過剰在庫の防止が可能となり、医薬品廃棄ロスの削減や、環境負荷低減に貢献しています。

スマートロジスティクス

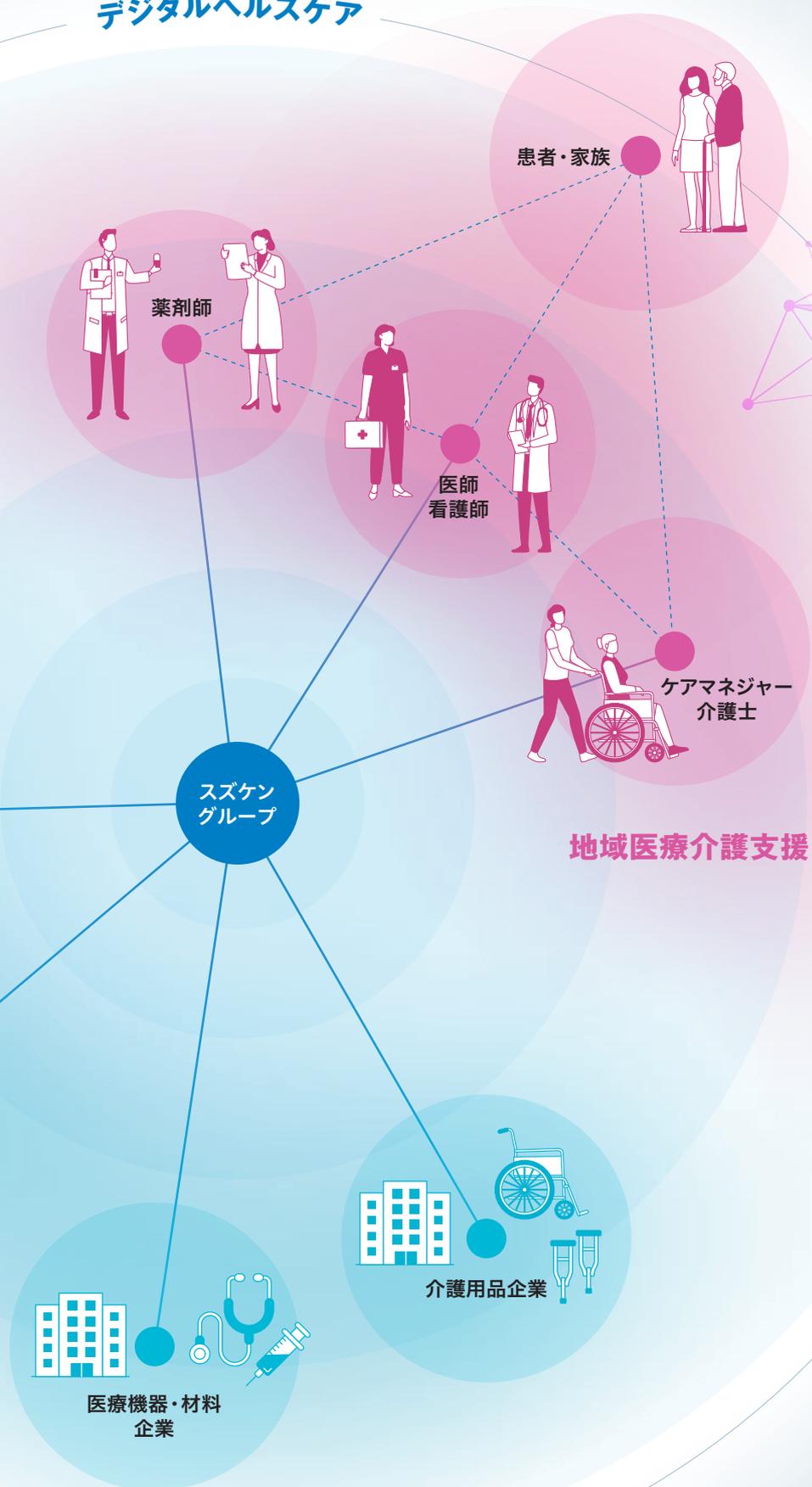


製薬企業



ヘルステック企業

デジタルヘルスケア



患者・家族

薬剤師

医師
看護師

ケアマネジャー
介護士

スズケン
グループ

地域医療介護支援

地域医療介護支援

地域によって異なる医療・介護ニーズに対して、協業企業と共に新たな製品・サービスを提供する、デマンドチェーン発想の新規事業創出に挑戦しています。

保険薬局店舗数

(2024年3月31日現在)

559 店舗

かかりつけ薬剤師・薬局として、患者さまのニーズに応える機能を強化するとともに、地域の保険薬局の業務改善などを支援するサービスの開発を進めています。

介護事業所数

(2024年3月31日現在)

185 事業所

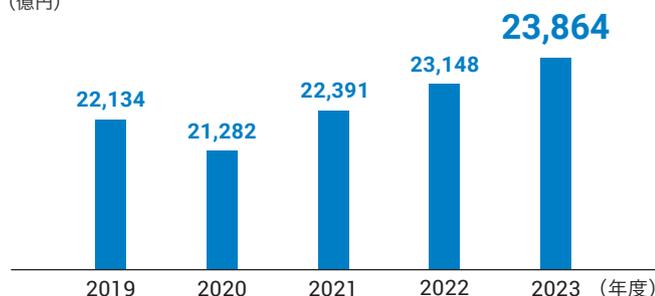
薬局事業や協業企業と連携し、介護サービス利用者やその家族のニーズに対応した、生活の質向上や介護負担を軽減するサービスの創出に取り組んでいます。

財務・非財務ハイライト(連結)

注)2022年度より受入情報収入等の表示変更を行っています。2022年度については、上記を反映した遡及適用後の数値です。

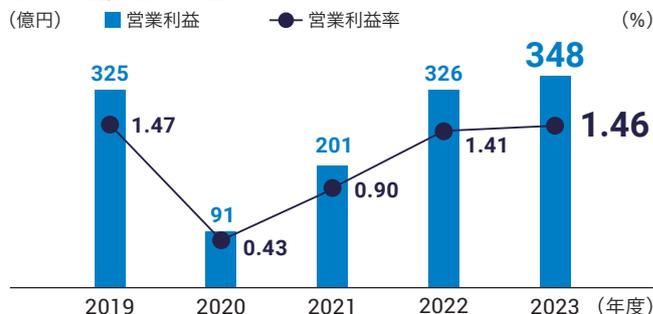
売上高

(億円)



営業利益/営業利益率

(億円)



売上高は、特定メーカーの取引見直しの影響があったものの、医療用医薬品市場が伸長したことに加え、スペシャリティ医薬品をはじめとする新薬や新型コロナウイルス感染症治療薬の販売増加などにより増収となりました。営業利益は、増収効果に加え、引き続き適正利益の獲得に取り組んだことなどにより増益となりました。

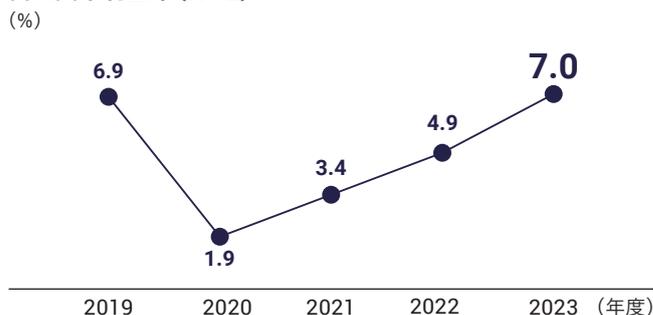
親会社株主に帰属する当期純利益/当期純利益率

(億円)



自己資本利益率(ROE)

(%)



親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式(投資有価証券)の縮減(8銘柄)を実施し、特別利益として投資有価証券売却益(68億円)を計上したことが寄与し、増益となりました。ROEは前期の4.9%から大幅に改善し、7.0%となりました。

設備投資額/減価償却費

(億円)



設備投資総額は158億円となりました。主に医薬品卸売事業において、物流センターの建設や設備拡充などへの投資を95億円、IT投資を46億円実施しました。また、ヘルスケア製品開発事業における製造設備への投資などに4億円、地域医療介護支援事業における設備の拡充・新規出店などに10億円実施しました。

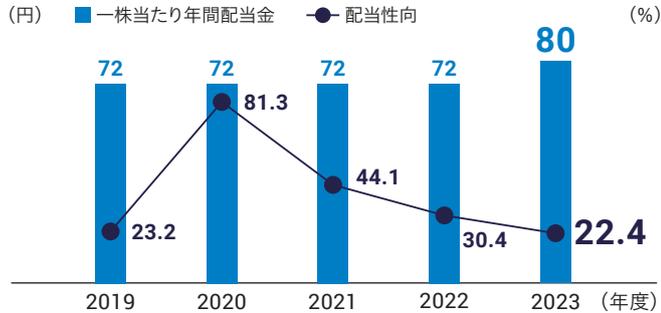
総資産/純資産/自己資本比率

(億円)

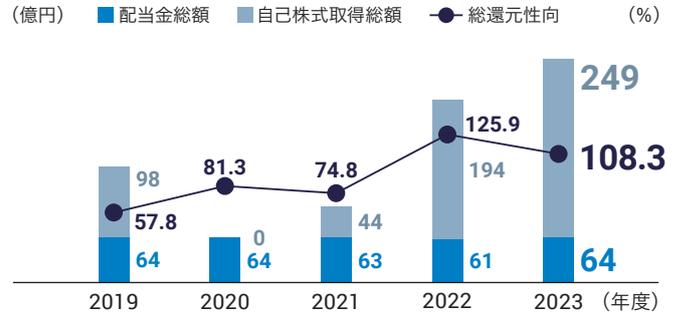


純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したものの、剰余金の配当の支払や自己株式の取得により株主資本が前期末に比べ21億円減少し、その他の包括利益累計額が前期末に比べ72億円増加したことにより、前期末に比べ49億円増加しました。

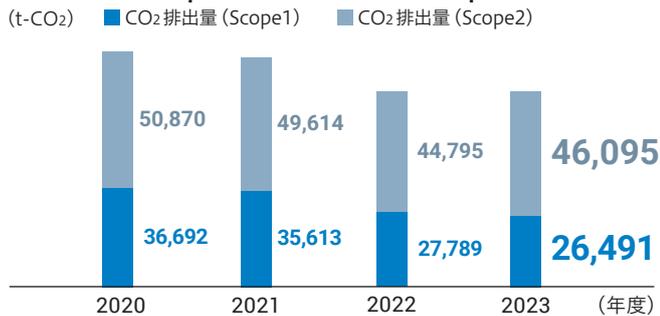
一株当たり年間配当金／配当性向



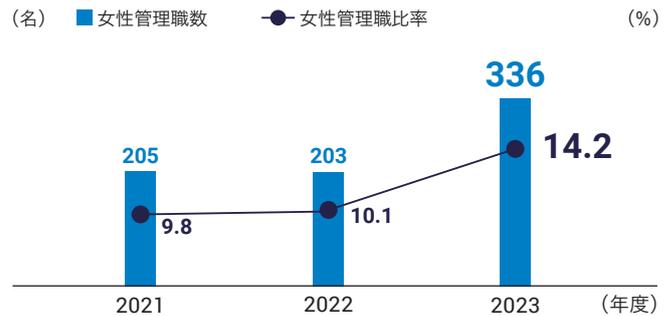
配当金総額／自己株式取得総額／総還元性向



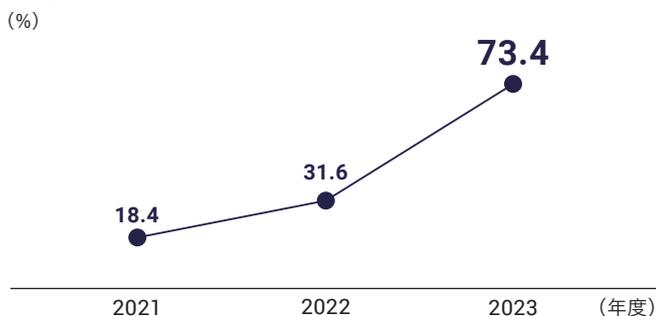
配当金総額(64億円)と自己株式取得(249億円)により、総還元性向は108.3%となりました。なお、取得した自己株式については、譲渡制限付株式報酬(RS)などへの充当を見込む10万株を除いた全数を消却しています。安定的な配当の継続を基本とし、中期経営計画の最終年度である2025年度までの3年間平均において、総還元性向100%以上の株主還元を実施していきます。

CO₂排出量(Scope1)[※]／CO₂排出量(Scope2)[※]

CO₂排出量(Scope1+Scope2)は72,586t-CO₂となり、2020年度比で17.1%削減しました。2030年度までに2020年度比40%の削減に向け、営業車両へのEV導入、太陽光パネルなどの再生エネルギーの有効活用、LED化、空調や医薬品保冷庫などの省エネ設備への切替、データの統合管理による対策の効率化を推進していきます。

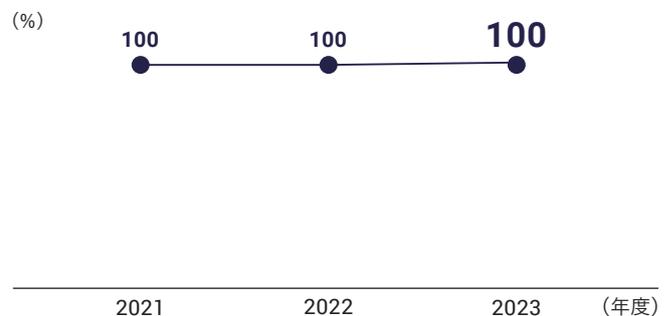
女性管理職数[※]／女性管理職比率[※]

女性管理職数が133名増加し、女性管理職比率は14.2%となりました。2030年度までにグループ全体の女性管理職比率を20%以上にするという目標に向け、女性社員の積極的な採用、選抜研修や新規プロジェクトへの登用を進めるなど、能力を最大限に発揮できる職場環境の整備に努めます。

男性育児休業取得率[※]

男性育児休業取得率は73.4%となりました。2025年度までに、グループ全体で男性育児休業取得率を100%にするという目標に向け、子どもが産まれる社員に対して育児休業制度や届け出方法の説明や、その上長にも理解を促すなど、取得しやすい風土と職場の環境整備に取り組んでいきます。

コンプライアンス研修受講率



グループ全社員を対象とした毎年のコンプライアンス研修受講率は100%となりました。今後も、ステークホルダーの皆さまからの信頼向上と、当社グループの継続かつ健全な発展に向け、グループガバナンス体制の強化と、コンプライアンス最上位の意識醸成に向けた取り組みを継続していきます。

※ 対象会社はスズケン、サンキ、アスティス、翔葉、スズケン沖縄薬品、ナカノ薬品、スズケン岩手、エス・ディ・ロジ、三和化学研究所、ユニスマイル、中央運輸、サンキ・ウエルビー、エスケアメイト、ケンツメディコ、エスマイル